



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月13日

上場会社名 株式会社やまびこ 上場取引所 東
 コード番号 6250 URL http://www.yamabiko-corp.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 永尾 慶昭
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐野 雄一 TEL 0428-32-6111
 四半期報告書提出予定日 2019年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|----------------|--------|-----|-------|-------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年12月期第1四半期 | 29,943 | 0.4 | 1,809 | △22.5 | 1,777 | 11.1 | 1,414 | 12.5 |
| 2018年12月期第1四半期 | 29,833 | — | 2,333 | — | 1,599 | — | 1,256 | — |

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 1,564百万円 (—%) 2018年12月期第1四半期 △174百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年12月期第1四半期 | 34.23 | — |
| 2018年12月期第1四半期 | 30.42 | — |

(注) 当社は、2017年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更しました。これに伴い、2018年12月期第1四半期（2018年1月1日から2018年3月31日）と比較対象となる2017年12月期第1四半期（2017年4月1日から2017年6月30日）の期間が異なるため、2018年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2019年12月期第1四半期 | 108,653 | 53,404 | 49.2 | 1,292.62 |
| 2018年12月期 | 99,313 | 53,577 | 53.9 | 1,296.82 |

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 53,404百万円 2018年12月期 53,577百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期の財政状態については当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年12月期 | — | — | — | 40.00 | 40.00 |
| 2019年12月期 | — | — | — | — | — |
| 2019年12月期（予想） | — | — | — | 35.00 | 35.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2018年12月期期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 67,000 | 6.1 | 4,900 | 16.2 | 4,700 | 19.4 | 3,700 | 23.8 | 89.55 |
| 通期 | 125,000 | 5.9 | 6,500 | 3.3 | 6,300 | 5.8 | 4,500 | 7.4 | 108.91 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|---------------|-------------|---------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2019年12月期 1 Q | 44,108,428株 | 2018年12月期 | 44,108,428株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年12月期 1 Q | 2,793,648株 | 2018年12月期 | 2,793,552株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2019年12月期 1 Q | 41,314,844株 | 2018年12月期 1 Q | 41,315,421株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く市場環境は、国内農業機械市場は刈払機が減少したものの、トラクタや田植機は好調に推移し、前年低迷したコンバインも回復するなど大型機械を中心に増加しました。国内建設機械市場は人材不足が継続しましたが、建機レンタル会社の資産購入などが堅調に推移しました。海外小型屋外作業機械市場は主要市場である北米、欧州ともに春先の天候が前年に比べて順調に推移したことなどにより回復基調となりました。

また、為替相場は、対ドルは円安水準となりましたが、対ユーロは円高基調で推移しました。

このような環境の下、当社グループは各種販売プロモーションを展開して市場シェア向上を図るとともに、ロボット芝刈機を北米市場に投入したほか、欧州市場への製品供給リードタイムの短縮や国内サービス体制の充実にも取り組みました。また、海外生産拠点の整備や国内生産プロセス改善による原価低減活動を推進するなど、最終年度を迎えた3ヶ年計画「中期経営計画2019」に基づく諸施策に着実に取り組みました。

以上のような事業活動を展開した結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は次のとおりとなりました。

| | 2018年12月期 第1四半期連結累計期間 | 2019年12月期 第1四半期連結累計期間 | 増減率 |
|----------------------|--------------------------|--------------------------|----------|
| 売上高 | 百万円 29,833 | 百万円 29,943 | % 0.4 |
| 国内 | 10,531 | 11,302 | 7.3 |
| 海外 | 19,302 | 18,641 | △3.4 |
| 米州 | 15,421 | 15,153 | △1.7 |
| その他海外 | 3,881 | 3,488 | △10.1 |
| 営業利益 | 2,333 | 1,809 | △22.5 |
| 経常利益 | 1,599 | 1,777 | 11.1 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 1,256 | 1,414 | 12.5 |

[売上高]

国内：農業用管理機械は減少したものの、一般産業用機械が大きく伸長したことに加え、小型屋外作業機械も増加して増収となりました。

海外：その他海外が大きく落ち込み、米州も振るわずに減収となりました。

[損益]

営業利益は原価率の上昇や販売管理費の増加が利益を押し下げたことなどにより減益となりましたが、経常利益は主に為替差損の減少により増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益も増益となりました。

[セグメント別の業績]

① 小型屋外作業機械

| | 2018年12月期 第1四半期連結累計期間 | 2019年12月期 第1四半期連結累計期間 | 増減率 |
|-----|--------------------------|--------------------------|-----------|
| 売上高 | 百万円 20,678 | 百万円 20,398 | % △1.4 |
| 国内 | 3,161 | 3,336 | 5.6 |
| 海外 | 17,517 | 17,061 | △2.6 |

国内：前年の天候不順の影響で振るわなかった刈払機やチェーンソーなどが、順調な天候を背景にホームセンター向けも含めて好調に推移して増収となりました。

海外：主力の北米は、流通段階の在庫調整の影響を受けたものの、パワーブロワが新製品効果で伸長したことや為替が円安となったことなどにより、円換算後の売上高は前年並みとなりました。欧州は、西欧が前年の天候不順から回復したものの、ロシア販売の大幅な減少や円高ユーロ安の影響などにより減収となりました。

② 農業用管理機械

| | 2018年12月期 第1四半期連結累計期間 | 2019年12月期 第1四半期連結累計期間 | 増減率 |
|-----|--------------------------|--------------------------|-----------|
| 売上高 | 百万円 5,105 | 百万円 4,786 | % △6.2 |
| 国内 | 4,013 | 3,841 | △4.3 |
| 海外 | 1,091 | 945 | △13.4 |

国内：近年好調を継続している畦草刈機に一時的な反動減が見られたほか、スピードスプレーヤーや乗用管理機も補助事業が減少した影響などを受けて減収となりました。

海外：米州は穀物価格の低迷が続いて販売が振るわなかったことに加え、前年に開始した中国市場向け乗用管理機も需要減退などにより減収となりました。

③ 一般産業用機械

| | 2018年12月期 第1四半期連結累計期間 | 2019年12月期 第1四半期連結累計期間 | 増減率 |
|-----|--------------------------|--------------------------|-----------|
| 売上高 | 百万円 3,443 | 百万円 4,285 | % 24.5 |
| 国内 | 2,766 | 3,655 | 32.1 |
| 海外 | 676 | 630 | △6.9 |

国内：主力の発電機が活発なインフラ整備需要を受けて急増したことなどにより大幅な増収となりました。

海外：豪州やアジアなどが底堅く推移したものの、前年に伸長した北米発電機に一服感が見られたことなどにより減収となりました。

④ その他

| | 2018年12月期 第1四半期連結累計期間 | 2019年12月期 第1四半期連結累計期間 | 増減率 |
|-----|--------------------------|--------------------------|------------|
| 売上高 | 百万円 605 | 百万円 472 | % △22.0 |
| 国内 | 589 | 468 | △20.4 |
| 海外 | 16 | 3 | △77.1 |

主要3事業以外の売上高は、主に自動車用試作部品の販売が落ち込んで減収となりました。

（2）財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については当該会計基準等を遡及処理した後の前連結会計年度末の数値と比較をしています。

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて93億40百万円増加し1,086億53百万円となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加72億22百万円、商品及び製品の増加16億38百万円等によるものです。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて95億13百万円増加し552億48百万円となりました。

その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加18億76百万円、借入金の増加59億76百万円、賞与引当金の増加8億30百万円等によるものです。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて1億73百万円減少し534億4百万円となりました。

これは、利益剰余金の減少2億46百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ4.7ポイント減少し、49.2%となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の収支は、営業活動によるキャッシュ・フローが29億34百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローが11億48百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが43億32百万円の収入となりました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の資金残高は48億84百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益17億72百万円、賞与引当金の増加額8億30百万円、売上債権の増加71億85百万円、棚卸資産の増加22億75百万円、仕入債務の増加28億59百万円、未収消費税等の減少額11億円等により、29億34百万円の支出（前年同四半期は42億3百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形及び無形固定資産の取得による支出11億49百万円により、11億48百万円の支出（前年同四半期は7億82百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加額52億80百万円、長期借入れによる収入52億円、長期借入金の返済による支出45億25百万円、配当金の支払額15億7百万円等により、43億32百万円の収入（前年同四半期は38億68百万円の収入）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期第2四半期業績予想および通期業績予想につきましては、2019年2月13日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,641 | 4,884 |
| 受取手形及び売掛金 | ※2 25,228 | ※2 32,451 |
| 商品及び製品 | 22,248 | 23,886 |
| 仕掛品 | 2,834 | 2,394 |
| 原材料及び貯蔵品 | 10,568 | 11,674 |
| その他 | 2,311 | 1,254 |
| 貸倒引当金 | △195 | △202 |
| 流動資産合計 | 67,637 | 76,344 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 8,651 | 8,541 |
| 土地 | 7,995 | 7,993 |
| その他（純額） | 8,347 | 8,487 |
| 有形固定資産合計 | 24,994 | 25,022 |
| 無形固定資産 | 896 | 854 |
| 投資その他の資産 | | |
| 退職給付に係る資産 | 1,398 | 1,405 |
| その他 | 4,742 | 5,383 |
| 貸倒引当金 | △356 | △356 |
| 投資その他の資産合計 | 5,784 | 6,432 |
| 固定資産合計 | 31,676 | 32,309 |
| 資産合計 | 99,313 | 108,653 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2018年12月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | ※2 8,467 | ※2 10,344 |
| 電子記録債務 | 10,972 | 11,746 |
| 短期借入金 | 4,804 | 10,115 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 5,892 | 1,369 |
| 未払法人税等 | 515 | 715 |
| 賞与引当金 | — | 830 |
| 製品保証引当金 | 493 | 511 |
| 厚生年金基金解散損失引当金 | 475 | 475 |
| その他 | 4,957 | 4,808 |
| 流動負債合計 | 36,578 | 40,917 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,756 | 10,945 |
| 退職給付に係る負債 | 39 | 44 |
| 環境対策引当金 | 2 | — |
| 製品保証引当金 | 788 | 810 |
| 厚生年金基金解散損失引当金 | 1,972 | 1,914 |
| 役員株式給付引当金 | 57 | 61 |
| その他 | 539 | 555 |
| 固定負債合計 | 9,156 | 14,331 |
| 負債合計 | 45,735 | 55,248 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,000 | 6,000 |
| 資本剰余金 | 9,666 | 9,589 |
| 利益剰余金 | 37,454 | 37,207 |
| 自己株式 | △1,013 | △1,013 |
| 株主資本合計 | 52,108 | 51,784 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 913 | 994 |
| 為替換算調整勘定 | 817 | 879 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △261 | △253 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,469 | 1,620 |
| 純資産合計 | 53,577 | 53,404 |
| 負債純資産合計 | 99,313 | 108,653 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 29,833 | 29,943 |
| 売上原価 | 21,146 | 21,662 |
| 売上総利益 | 8,687 | 8,281 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,353 | 6,471 |
| 営業利益 | 2,333 | 1,809 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3 | 1 |
| 受取配当金 | 3 | 4 |
| 受取ロイヤリティー | 20 | 15 |
| その他 | 56 | 86 |
| 営業外収益合計 | 84 | 107 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 50 | 71 |
| 為替差損 | 755 | 25 |
| 支払手数料 | 1 | 32 |
| その他 | 11 | 10 |
| 営業外費用合計 | 818 | 140 |
| 経常利益 | 1,599 | 1,777 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | 2 |
| 特別利益合計 | 2 | 2 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 30 | 6 |
| 特別損失合計 | 30 | 6 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,571 | 1,772 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 684 | 808 |
| 法人税等調整額 | △369 | △450 |
| 法人税等合計 | 314 | 358 |
| 四半期純利益 | 1,256 | 1,414 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,256 | 1,414 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,256 | 1,414 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △177 | 80 |
| 為替換算調整勘定 | △1,261 | 62 |
| 退職給付に係る調整額 | 8 | 7 |
| その他の包括利益合計 | △1,431 | 150 |
| 四半期包括利益 | △174 | 1,564 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △174 | 1,564 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日) |
|----------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,571 | 1,772 |
| 減価償却費 | 857 | 780 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | △33 | 0 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 4 | 7 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △3 | 6 |
| 受取利息及び受取配当金 | △7 | △5 |
| 支払利息 | 50 | 71 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 741 | 830 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △7,062 | △7,185 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △1,142 | △2,275 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 1,641 | 2,859 |
| 未収消費税等の増減額 (△は増加) | 829 | 1,100 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △8 | △1 |
| 厚生年金基金解散損失引当金の増減額 (△は減少) | △60 | △58 |
| 役員株式給付引当金の増減額 (△は減少) | — | 4 |
| その他 | △811 | △225 |
| 小計 | △3,430 | △2,316 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5 | 2 |
| 利息の支払額 | △53 | △59 |
| 法人税等の支払額 | △723 | △561 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △4,203 | △2,934 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △768 | △1,149 |
| 有形及び無形固定資産の売却による収入 | 2 | 2 |
| その他 | △16 | △1 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △782 | △1,148 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 5,241 | 5,280 |
| 長期借入れによる収入 | 22 | 5,200 |
| 長期借入金の返済による支出 | △49 | △4,525 |
| 配当金の支払額 | △1,309 | △1,507 |
| 連結子会社増資に伴う非支配株主からの払込による収入 | — | 35 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | — | △111 |
| その他 | △37 | △39 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 3,868 | 4,332 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △117 | △5 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △1,234 | 242 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,279 | 4,641 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 444 | — |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,488 | 4,884 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|--------------|---------|---------|--------|--------------|--------------|--------------------------------|
| | 小型屋外作業 機械 | 農業用管理機械 | 一般産業用機械 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 20,678 | 5,105 | 3,443 | 29,227 | 605 | — | 29,833 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 13,136 | 3,860 | 2,834 | 19,831 | 480 | △20,311 | — |
| 計 | 33,814 | 8,966 | 6,277 | 49,058 | 1,086 | △20,311 | 29,833 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 3,798 | △253 | 125 | 3,670 | 115 | △1,452 | 2,333 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,452百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|--------------|---------|---------|--------|--------------|--------------|--------------------------------|
| | 小型屋外作業 機械 | 農業用管理機械 | 一般産業用機械 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 20,398 | 4,786 | 4,285 | 29,470 | 472 | — | 29,943 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 13,232 | 3,470 | 3,561 | 20,265 | 526 | △20,791 | — |
| 計 | 33,631 | 8,257 | 7,847 | 49,736 | 998 | △20,791 | 29,943 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 3,143 | △191 | 284 | 3,236 | 82 | △1,509 | 1,809 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,509百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。